

平成25年度事業報告

(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)

1. 試合の管理運営に関して

(1) 世界(男子12/女子10)、東洋太平洋(男子12/女子2)、日本(15)の別記タイトルマッチ及びその他合計102興行(778試合)の試合管理を行う。

[資料1参照]

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスの発給。

ライセンスの発行数 3,795

(内訳) ボクサー(2025, 内女子91名)、プロモーター(73)、クラブオーナー(267)、マネージャー(364)、トレーナー(539)、セコンド(345)、マッチメーカー(4)、レフェリー(71)、タイムキーパー(10)、アナウンサー(9)、ドクター(82)、進行(6)。

(3) プロボクサー新人テスト実施

《男子》受験者総数(C級) :	318名	合格者 :	223名 (合格率70.1%)
" (B級) :	8名		8名 (合格率100%)
" (A級) :	1名		1名 (合格率100%)
《女子》受験者総数(C級) :	18名	合格者 :	17名 (合格率94.4%)
" (B級) :	0名		0名

(4) 日本ランキング決定、発表(月例)

(5) 試合役員研修会(東京地区月日他原則毎月、他4地区は随時)

採点基準、レフェリング(反則処置)、事故防止他。

2. 安全防護に関して

(1) 医事講習会(3月29日、於・マイドームおおさか)

[講師] 藤田 敏晃コミッションDr. (大阪厚生年金病院・脳卒中センター長)

「事故報告ならびに硬膜下血腫の起こるメカニズムについて」

関西地区で医事講習会が3年振りに開催された。昨年に関西地区で起こったリング事故報告、並びに急性硬膜下血腫に至る過程の脳震盪などについて講義された。参加者40名。

(2) 網膜剥離における引退規定の見直しを施行（4月1日より施行）

指定病院

東京地区：駿河台日本大学病院

関西地区：大阪医科大学附属病院

近畿大学医学部附属病院

中部地区：藤田保健衛生大学病院

西部地区：九州大学病院

3. 国際交流について

(1) 加盟承認

4月1日付けにて **WBO**（世界ボクシング機構）並びに **IBF**（国際ボクシング連盟）を承認加盟。

(2) 国際会議に代表派遣

IBF（国際ボクシング連盟）第30回年次総会

（5月21日～5月25日、ドイツ・ベルリン、ホテルコンコルデベルリン）

協議事項:

*役員改選

*レフェリーセミナー

*メディカルセミナー

*ジャッジセミナー

*ランキング委員会

*その他

4. ボクシング功労者の表彰について

(1) 2012年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式。

1月25日東京ドームホテル（2013年1月7日選考）

プロの部10部門（15名） アマの部6部門（10名）

(2) 世界王者獲得並びに各種チャンピオンの引退、他功労表彰について。

[引退]

*元 **WBC** 世界スーパー・フライ級チャンピオン 佐藤洋太（協栄）引退。

[獲得]

***WBC** 世界スーパー・フェザー級チャンピオン 三浦隆司（帝拳）

***WBC** 世界フライ級チャンピオン 八重樫東（大橋）

*IBF 世界ミニマム級チャンピオン 高山勝成（フリー）獲得
※JBC 公認前により参考

(3) J B C 試合役員等功労表彰

5. 機関誌の発行について

- (1) ボクシング広報（月刊）
- (2) ボクシング年鑑

6. 選手記録（戦績、診断の両記録カード）、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存（継続）

7. その他

- (1) (財) 日本ボクシングコミッション 第35回定例理事会・実行委員会（2月27日、後楽園飯店）
 - (a) 2012年度事業報告、同収支決算報告承認
 - (b) 2013年度事業計画、同収支予算承認
 - (c) 新公益法人移行について

(2) 7月1日付をもって財団法人日本ボクシングコミッションは公益法人制度改革に伴い、一般財団法人日本ボクシングコミッションと名称を改めた。

(4) 紛争処理

(5) JBC/JPBA(ボクシング協会) 合同会議

(6) アマチュア関係者との協議

年間優秀選手表彰選考。アマチュアとの交流について。

〔資料1〕海外で行われたタイトルマッチを含む（網掛けは女子タイトルマッチ）

(1) 世界タイトルマッチ (23)

1. WBA 女子世界ライト・ミニマム級 (2月26日 後楽園ホール)
○宮尾綾香 (大橋) 判定 秋田屋まさえ (ワイルドビート) ●#13
2. WBA 世界ライト・フライ級 (2月27日 川崎市とどろきアリーナ)
○ファン・カルロス・レベコ (亜) 判定 黒田雅之 (川崎新田) ●#9
3. WBC 世界スーパー・フライ級戦 (3月2日 メキシコ)
○ズリーナ・ムニョス (メキシコ) 判定 天海ツナミ (アルファ) ●#10
4. WBC 世界アトム級 (3月3日 後楽園ホール)
○小関桃 (青木) 判定 マリア・ヒメネス (メキシコ) ●#15
5. WBA 世界ミニマム級 (3月3日 後楽園ホール)
○多田悦子 (フューチャー) 判定 黒木優子 (YuKO) ●#12
6. WBC 世界ライト・フライ級王座決定戦 (3月3日 後楽園ホール)
○柴田直子 (ワールドスポーツ) 判定 イベス・サモラ (メキシコ) ●#4
7. WBA 世界ミドル級 (3月30日 モナコ)
○ゲンナディー・ゴロフキン (ウズベキスタン) 判定 石田順裕 (グリーンツダ) ●#15
8. WBA 世界バンタム級 (4月7日 ボディメーカーコロシウム)
○亀田興毅 (亀田) 判定 パノムルンレック・カイヤンハーダオジム (タイ) ●#8
9. WBC 世界スーパー・フェザー級 (4月8日 両国国技館)
●ガマリエル・ディアス (メキシコ) TKO9R1'21" 三浦隆司 (帝拳) ●#10
10. WBC 世界フライ級 (4月8日 両国国技館)
●五十嵐俊幸 (帝拳) 判定 八重樫東 (大橋) ○#6
11. WBC 世界バンタム級 (4月8日 両国国技館)
○山中慎介 (帝拳) TKO12R1'57" マルコム・ツニャカオ (真正) ●#1
12. WBA 女子世界スーパー・フライ級 (4月10日 後楽園ホール)
○山口直子 (白井・具志堅) 判定 ロレダナ・ピアッツァ (イタリア) ●#7
13. WBA 世界フェザー級戦 (4月14日 インドネシア)

△クリス・ジョン（インドネシア） TD3R2'12” 細野悟（大橋）△#6

14. WBC 世界スーパー・フライ級（5月3日 タイ・シーサケット）

●佐藤洋太（協栄） TKO8R1'26” シーサケット・ソールンビサイ（タイ）○#8

15. WBA 世界スーパー・フライ級王座統一戦（5月6日 大田区総合体育館）

正規●河野公平（ワタナベ） 判定 リボリオ・ソリス（ベネズエラ）○暫定

16. WBA 世界スーパー・フェザー級（5月6日 大田区総合体育館）

○内山高志（ワタナベ） KO5R2'15” ハイデル・パーラ（ベネズエラ）●#10

17. WBA 世界ミニマム級（5月8日 ボディメーカーコロシウム）

○宮崎亮（井岡） TKO5R2'22” カルロス・ベラルデ（メキシコ）●#7

18. WBA 世界ライト・フライ級（5月8日 ボディメーカーコロシウム）

○井岡一翔（井岡） KO9R2'51” ヴィサヌ・ゴークヤットジム（タイ）●#2

19. WBC 女子世界フライ級（5月19日 和歌山ビックウエーブ）

●レタナ・セベレディ（ハンガリー） 判定 真道ゴー（クラトキ）○#3

20. WBC 女子世界アトム級（5月28日 香港・香港国際会議展示場）

○小関桃（青木） KO6R1'23” ホ・ウニョン（韓国）●

21. WBC 女子世界ライト級（6月15日 アルゼンチン・ブエノスアイレス）

○エリカ・アナベラ・ファリアス（亜） 判定 水谷智佳（宮田）●#

22. WBA 女子世界ライト・ミニマム級（6月24日 後樂園ホール）

○宮尾綾香（大橋） 判定 安藤麻里（フューチャー）●#4

23. IBF 女子世界バンタム級（6月29日 メキシコ）

○ヤズミン・リバス（メキシコ） 判定 三好喜美佳（川崎新田）●#3

（2）東洋太平洋タイトルマッチ（14）

1. ライト・フライ級王座決定戦（1月12日 後樂園ホール）

WBC#8,WBA#9○小野心（ワタナベ） 判定 オマリ・キムウェリ（豪）●#2

2. フェザー級王座決定戦（2月20日 後樂園ホール）

#2△李冽理（横浜光） 判定 シリロ・エスピノ（比）△#3

3. 女子バンタム級（2月27日 川崎市とどろきアリーナ）
●東郷理代（アルファ） 判定 三好喜美佳（川崎新田）#1○
 4. スーパー・バンタム級（3月10日 神戸サンボーホール）
●小國以載（VADY） TKO10R 終了 和氣慎吾（古口）○#7
 5. ウェルター級（3月18日 後樂園ホール）
○渡部あきのり（協栄） TKO6R2'45" コブラ諏訪（ピューマ渡久地）●#7
 6. スーパー・ウェルター級（4月6日 YANO FITNESS CENTER）
○チャーリー太田（八王子中屋） 判定 郭京錫（韓国）●#9
 7. 女子スーパー・フライ級（4月10日 後樂園ホール）
●つのだのりこ（白井・具志堅S） TKO4R0'40" 川西友子（大阪帝拳）○#4
 8. スーパー・ライト級（4月21日 後樂園ホール）
○キム・ミノク（韓国） 判定 岩渕真也（草加有沢）●#1
 9. ライト級王座決定戦（5月4日 後樂園ホール）
○加藤善孝（角海老宝石） 判定 佐々木基樹（帝拳）●WBC#15
 10. ミドル級（5月4日 後樂園ホール）
●淵上誠（八王子中屋） TD9R1'07" 柴田明雄（ワタナベ）○#1
 11. バンタム級王座決定戦（6月10日 後樂園ホール）
#3●デニス・トゥビエロン（比） KO2R0'29" 椎野大輝（三迫）○#12
 12. スーパー・バンタム級（6月10日 後樂園ホール）
○和氣慎吾（古口） TKO9R2'24" 菊地永太（真正）●WBA#5
 13. スーパー・ウェルター級（6月25日 後樂園ホール）
○チャーリー太田（八王子中屋） KO9R2'40" 沼田康司（トクホン真闘）●#1
 14. フェザー級王座決定戦（6月28日 後樂園ホール）
○李冽理（横浜光） 判定 石川昇吾（新日本木村）●#5
- (3) 日本タイトルマッチ（15）
1. スーパー・ウェルター級（1月12日 後樂園ホール）
○柴田明雄（ワタナベ） KO8R2'53" 細川貴之（六島）●#1
 2. ミドル級（2月11日 後樂園ホール）

- 佐々木佐之介（ワタナベ） TKO6R0'47" 胡朋宏（横浜光）○#1
- 3. スーパー・ライト級（2月11日 後楽園ホール）
 - 岩渕真也（草加有沢） KO7R0'39" 湯場忠志(都城レオスポーツ)○#2
- 4. ライト級（2月25日 後楽園ホール）
 - 加藤善孝（角海老宝石） 判定 鈴木悠平（真正）●#1
- 5. ミニマム級（2月26日 後楽園ホール）
 - 原隆二（大橋） 判定 岩橋裕馬（森岡）●#1
- 6. フライ級（2月27日 後楽園ホール）
 - 粉川拓也（宮田） TKO10R0'12" 池原繁尊（横浜光）●#1
- 7. バンタム級王座決定戦（3月16日 神戸市立中央体育館）
 - WBC#9○大場浩平（真正） 判定 ゼロフィット・ジェロッピ（千里馬神戸）●#1
- 8. ウェルター級（3月25日 後楽園ホール）
 - 高山樹延（角海老宝石） 判定 尹文鉉（ドリーム）●#1
- 9. スーパー・フライ級王座決定戦（3月31日 神戸サンボーホール）
 - 帝里木下（千里馬神戸） 判定 白石豊士（協栄）●#1
- 10. ライト・フライ級王座決定戦（4月3日 後楽園ホール）
 - WBA#6○田口良一（ワタナベ） 判定 知念勇樹（琉球）●#3
- 11. スーパー・フェザー級（4月6日 後楽園ホール）
 - 金子大樹（横浜光） TKO9R1'39" 玉越強平（千里馬神戸）●WBC#7,WBA#8
- 12. スーパー・ライト級王座決定戦（4月8日 後楽園ホール）
 - #3●外園隼人（帝拳） TKO4R2'00" 小原佳太（三迫）○#1
- 13. フェザー級（4月8日 後楽園ホール）
 - 天笠尚（山上） 判定 横山大輔（ワールドスポーツ）●#1
- 14. スーパー・バンタム級（4月17日 後楽園ホール）
 - 大竹秀典（金子） TD8R1'40" 土居コロニータ伸久（ヨネクラ）●#1
- 15. ミニマム級（6月2日 ふじさんめっせ）
 - 原隆二（大橋） 判定 伊藤秀平（真正）●#4